



様式：8-02

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間：'23 年 4 月～'24 年 3 月)

発行日：2024 年 7 月 12 日

改訂日：2024 年 7 月 25 日



日鉄神鋼建材株式会社

尼崎製造所



エコアクション21
認証番号 0004125

承認	起案	作成
尼崎製造所 長	環境管理 責任者	事務局
		



目 次

● ごあいさつ	1
● 環境経営方針	2
● 事業所の概要	3
● エコアクション21取り組み組織図 (環境経営システム組織図)	4
● 主な環境負荷の実績	5
● 2023年度環境経営目標と実績	6
● 2023年度環境経営活動の取り組み評価	7
● 2024年度取り組みの計画と目標	8
● 環境・労働安全衛生関連法規制等の遵守状況	9
● マネジメントレビュー（代表者による 全体評価と見直し・指示）の結果	9
● 2023年度活動実施事例	10



レーンオープナー（緊急開口部用ガードレール）

ご安全に！！

当社は、2021年12月に事業統合により、防護柵製造の新会社として日鉄神鋼建材株式会社を発足しました。2022年度から尼崎製造所としてのEMSをスタートすることとなり、尼崎製造所員一丸となって環境保全活動に取り組み、更に地域・社会貢献に努めます。

当所は、これまでに景観・環境に配慮した道路建材製品、防音製品、防災製品及び海洋製品と言った地球環境を考慮したオンリーワン製品を揃え、その製品の生産活動における省エネにより、二酸化炭素排出量の削減、廃棄物の抑制、天然資源の節約などに取り組んできました。今後、さらに微力ながら環境への貢献に努めます。

ここに2023年度の環境活動の取り組み結果を「環境経営レポート」としてまとめておりますのでご覧の上、ご指導、ご指摘を頂ければ幸いです。

環境経営方針

[環境経営理念]

日鉄神鋼建材（株）尼崎製造所は、『安心・安全・快適な国づくりに取り組む』を経営理念のもと、環境に配慮した道路建材製品、防災製品、防音製品の製造を通じて、環境保全活動を積極的、継続的に取組みます。

当所は、環境保全活動の推進のため、省エネ化、省資源化、汚染の予防、継続的改善、環境法規等の遵守を全従業員参加で取組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

[環境経営方針]

当所は企業活動と環境保全活動を両立させ、環境保全が経営の重要課題であることを認識、浸透させ、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境、労働安全衛生関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 本方針達成のため、環境目標・目的を定め、計画的に活動するとともに、定期的に見直しを行い、環境負荷低減及び環境経営システムの継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。
 - ①電力、ガス使用量の削減に取り組む、CO₂削減に努めます。
 - ②廃棄物（産業廃棄物、金属スクラップ等）の削減に努めます。
 - ③水道水の使用量削減に努めます。
 - ④製造過程で用いる化学物質の使用量削減に取り組めます。
 - ⑤製品輸送に伴う燃料使用量、CO₂の削減に取り組めます。
4. 方針は掲示し、全従業員に教育・訓練を実施し周知を図ると共に外部へも公表します。
5. 環境保全活動を通じてSDGsやカーボンニュートラルに取り組めます。

制定日：2008年10月1日

改訂日：2023年10月1日

日鉄神鋼建材株式会社

尼崎製造所長

宇佐美 智之



事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名

日鉄神鋼建材株式会社 尼崎製造所

尼崎製造所長 宇佐美 智之

※2021年12月～日鉄建材（株）との事業統合により、日鉄神鋼建材に変更。

(2) 適用サイト

尼崎製造所 〒660-0086 兵庫県尼崎市丸島町46番地

(3) 環境管理の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 設備環境室 岳田 恭輔 TEL:06-6418-2861

(4) 事業内容（尼崎製造所のみ）

活動 : ガードフェンス製品、防音製品、防災製品の試作品等の設計、製造、及び施工指導

サービス : 上記に係る製品の施工指導等

(5) 事業の規模（2024年3月末時点）

製品売上高 : 179億円／年（日鉄神鋼建材（株）全体）

製品売上重量 : 31,453ton／年（日鉄神鋼建材（株）全体）

敷地面積 : 83,676.29 m²（尼崎製造所）

工場延べ床面積 : 26,938.58m²（尼崎製造所）

従業員 : 135名（尼崎製造所）

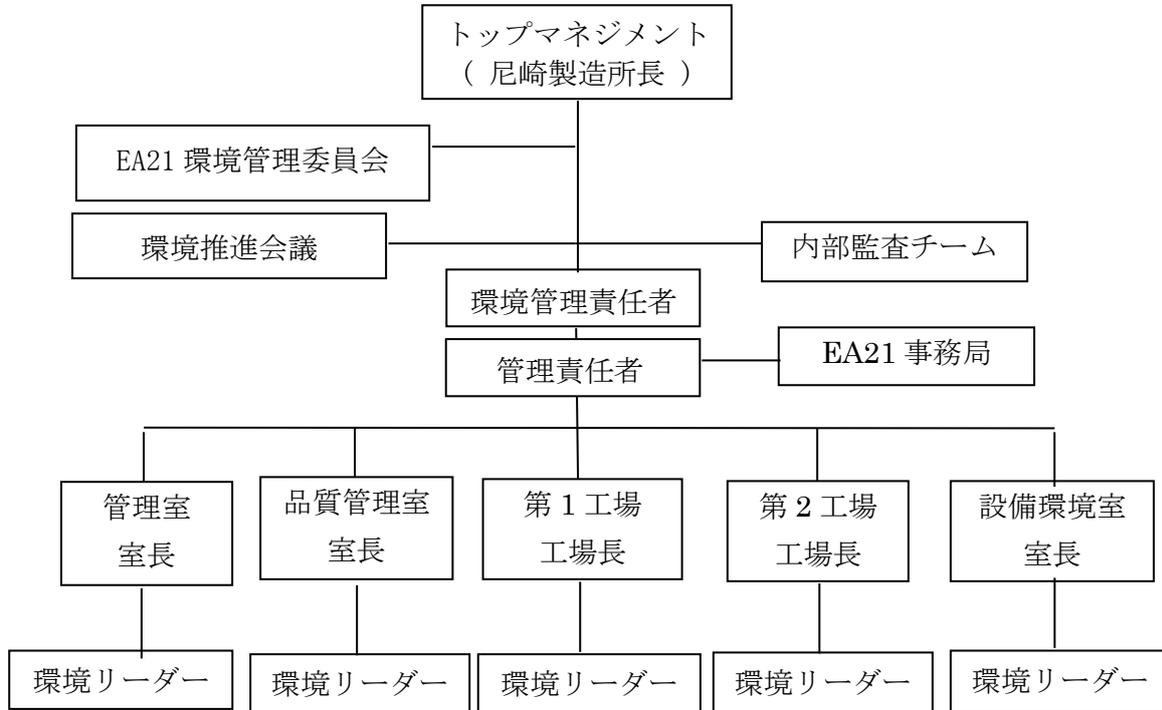
(6) 本社所在地

東京都千代田区外神田4丁目14-1 秋葉原UDX13階



エコアクション 21 取り組み組織図（環境経営システム組織図）

期間：2023.4～2024.3



尼崎製造所

管理室 : 経理購買 Gr、人事総務 Gr、システム Gr

品質管理室 : 品質

第1工場 : GF加工、第1塗装、GP加工、

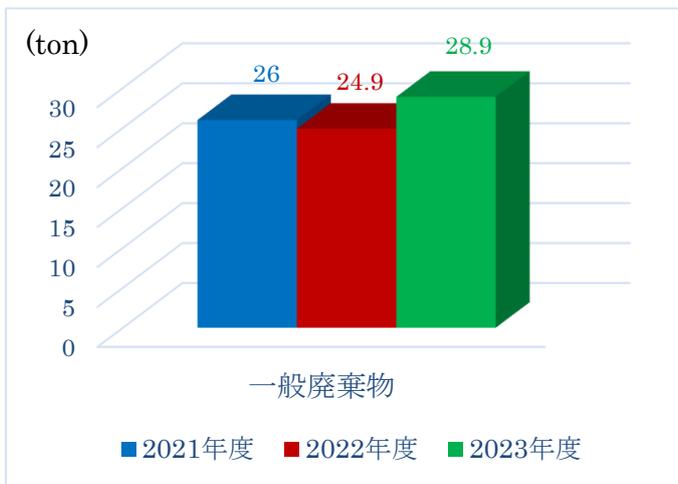
第2工場 : 縦柵、防災・防音、検査、

設備・環境 Gr : 設備整備・環境

- ・ トップマネジメント：EA21システムに基づく環境経営に関する統括責任を持つ。
- ・ EA21環境管理委員会：委員長は尼崎製造所長とする。
- ・ 環境管理責任者：環境管理責任者は設備環境室次長とする。
- ・ EA21事務局：EA21事務局及びEA21環境管理委員会の事務局は設備環境室に置く。
- ・ 管理責任者：実施・運用項目の管理責任者は、環境管理責任者より任命を受ける。
- ・ 所属長：所属長は、室長、工場長がこれに当たる。
- ・ 環境リーダー：環境リーダーは、所属長より任命を受ける。
- ・ 内部監査員、監査リーダー及び主任監査員：内部監査は定期的に年1回（原則5月～7月にかけて）、会社の方針変更あるいは目的・目標の大幅な変更が発生した場合などは臨時監査を実施する。
- ・ 環境推進会議：委員長は環境管理責任者とし、環境実施計画書等の進捗状況を確認し、評価、是正を指示する。

● 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	ton-CO ₂	2,402	2,244	2,138
産業廃棄物	ton	130.7	121.4	106.2
一般廃棄物	ton	26.0	24.9	28.9
水使用量	m ³	14,140	12,670	12,874



2023 年度環境経営目標と実績

尼崎製造所における環境経営目標と実績は次の通りです。

		2022 年度	2023 年度		2024 年度	2025 年度	
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	
出荷重量 (ton)		(32, 651)	—	(31, 453)	—	—	
二酸化炭素排出量	総排出量 (ton-CO ₂)	2, 244	2, 222	2, 138	2, 117	2, 096	
	電気	総使用量 (kWh)	2, 260, 728	2, 238, 121	2, 106, 507	2, 085, 442	2, 064, 588
		原単位 (kWh/ton)	46. 1	45. 6	45. 6	45. 1	44. 6
		対目標比	10%増	前年原単位 1%減	0%減	前年原単位 1%減	前年原単位 1%減
	ガス	都市ガス総使用量 (Nm ³)	627, 432	621, 158	608, 904	602, 815	596, 787
		原単位 (Nm ³ /ton)	51. 3	50. 8	53. 0	52. 5	52. 0
対目標比		6. 7%増	前年原単位 1%減	4. 3%増	前年原単位 1%減	前年原単位 1%減	
廃棄物	産業廃棄物 (ton)	121. 4	120. 1	106. 2	105. 1	104. 0	
		対目標比	6. 2%減	前年比 1%減	11. 6%減	前年比 1%減	前年比 1%減
	一般廃棄物 (ton)	24. 9	24. 7	28. 9	28. 6	28. 3	
		対目標比	3. 1%減	前年比 1%減	17%増	前年比 1%減	前年比 1%減
	スクラップ	スクラップ排出量 (ton)	590. 0	584. 1	693. 5	686. 6	679. 7
		歩留り (%)	95. 1	95. 2	94. 5	94. 6	94. 7
対目標比		2. 7%増	前年比 0. 1%増	1%減	前年比 0. 1%増	前年比 0. 1%増	
天然資源	上水	総使用量 (m ³)	12, 670	12, 543	12, 874	12, 745	12, 873
		原単位 (m ³ /ton)	1. 04	1. 03	1. 12	1. 11	1. 10
		対目標比	0. 7%減	前年原単位 1%減	8. 7%増	前年原単位 1%減	前年原単位 1%減
	化学物質の削減	水性塗料へ変更	水性塗料へ変更	水性塗料へ変更	削減化学物質抽出	削減化学物質抽出	
	ガソリン使用量 (L)	9, 999	9, 899	7, 184	7, 112	7, 041	

※出荷重量は、売上重量とする。(参考値) ※2022 年度から出荷重量(参考値)/CO₂ 排出量の算出は除外とする。

※CO₂ 排出係数は、0.334kg-CO₂/kWh(2018 年関西電力)とする。

※2022 年度から、二酸化炭素総排出量、廃棄物、天然資源は尼崎製造所の実績値とする。また、環境負荷の大きい電気、ガス、上水の原単位(使用量/生産実績(ton))を見直し実施。

※SDGs・カーボンニュートラルの取り組みは、紙資源リサイクルの更なる推進。

※グリーン購入は、2020 年度から管理項目から除外とする。

※ガソリン実績は、2022 年度から (L) で表記。

※製品拡販は、2022 年度から管理項目から除外とする。

※モーダルシフトは、2023 年度から管理項目から除外とする。



2023年度環境経営活動の取り組み評価（'23年4月～'24年3月）

	取り組み計画	評価	達成状況	結果
二酸化炭素排出量	電力の削減 ・事務所、工場照明 LED 化 ・事務所執務室集約化 ・エア漏れの点検、補修 ・受電変圧器使用の見直し ・エアコンの温度設定：夏 26℃ 冬 21℃	○ ○ ○ ○ ○	目標： 45.6kWh/ton 実績： 45.6kWh/ton 目標達成	○ 目標達成 他製造所からの設備移設により、防護柵製品の生産性が向上したため、原単位が向上した。 事務所、工場照明の LED 化が省エネになった。また事務所執務室の集約化で、照明、エアコンの省エネになった。
	都市ガスの削減 ・エアコンの温度設定：夏 26℃ 冬 21℃ ・エアコンの監視管理の実施 ・蒸気配管の蒸気漏れの点検、補修	○ ○ ○	目標：50.8m ³ /ton 実績：53.0m ³ /ton 4.3%増	△ 目標未達 生産量減に伴い都市ガス使用量は減少したが、固定稼働分があるため、原単位が悪化した。
	二酸化炭素排出量総量 注：数値は電力、ガスの目標、実績から算出		目標：2,222ton 実績：2,138ton 3.7%減	○ 目標達成 CO ₂ 総排出量減少は、電気、ガス使用量の減少が寄与した。
廃棄物	産業廃棄物の削減 ・産業廃棄物の削減の啓発	○	目標：120.1ton 実績：106.2ton 目標比 11.6%減	○ 目標達成 生産量減に伴い産廃量が減少した。
	一般廃棄物の削減 ・一般廃棄物の削減の啓発 ・紙リサイクルの推進	○ ○	目標：24.7ton 実績：28.9ton 目標比 17%増	× 目標未達 事務所集約により書類の廃棄物が増加した。
	スクラップの削減 ・歩留り向上、再作品の削減	△	目標：95.2% 実績：94.5% 目標比 1%減	× 目標未達 生産性を上げるため、標準品を製作するが、短尺品のスクラップは増加し、歩留りは悪化した。
天然資源	水資源使用量の削減 ・節水の呼びかけ ・水、蒸気漏れの点検、補修 ・塗装前処理水の漏水改善・給水量調節	○ ○ △	目標：1.03m ³ /ton 実績：1.12m ³ /ton 8.7%増	△ 目標未達 塗装設備の処理液の入替頻度が増加したことで、使用量が増加したため、原単位も悪化した。
	化学物質の使用量削減 ・工場床面、設備塗装を水性塗料に切替え	○	切替完了	○ 目標達成 全ての塗料を水性化完了した。
	社有車のガソリン削減 ・更なるエコカーの導入、社有車集約 ・エコ運転の励行	○ ○	目標：9,899L 実績：7,184L 目標比 27.4%減	○ 目標達成 エコカー導入や社有車の集約でガソリン使用量が減少した。

※活動評価 ○できた △おおむねできた ×できず

※実績/目標 ○100%以上 △90%以上 100%未満 ×90%未満



2024 年度取り組みの計画と目標

	取り組み計画	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・エア漏れのパトロール、補修の推進 ・モーターのインバーター化の推進 ・工場、会議室の照明 LED 化 ・原単位管理の強化 	2023 年度比原単位の 1 %削減 2024 年度目標原単位： 45.1kWh/ton
	都市ガスの削減 <ul style="list-style-type: none"> ・塗装前処理液の常温化 ・蒸気漏れの速やかな補修 ・原単位管理の強化 	2023 年度比原単位の 1 %削減 2024 年度目標原単位： 52.5m ³ /ton
	二酸化炭素排出量総量 注：数値は電力、ガス各々の目標、実績から算出	2023 年度比 1 %削減 2024 年度総排出量 2,117ton-CO2
廃棄物	廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別 ・廃プラのリユース・リサイクル促進 	2023 年度比 1%削減 2024 年度 産業廃棄物 105.1ton 一般廃棄物 28.6ton
	スクラップの削減 <ul style="list-style-type: none"> ・製作不良、再作品の削減 	2023 年度比 0.1%歩留り向上 2024 年度 歩留り 94.6%
天然資源使用量削減	水資源使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・節水の呼びかけ ・塗装前処理液の常温化 ・原単位管理の強化 	2023 年度比原単位の 1 %削減 2024 年度目標原単位 1.11 m ³ /ton
	化学物質の使用量削減 <ul style="list-style-type: none"> ・削減可能な化学物質抽出 	2024 年度目標 削減可能な化学物質抽出
	ガソリン使用量削減 <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ運転の取組継続 ・社有車のエコカーへの集約 	2023 年度比 1 %削減 2024 年度目標 7,112L
SDGs、カーボンニュートラル	SDGs の取組み	2024 年度目標 紙資源のリサイクルの促進 廃プラパレットのリユース、リサイクルの促進
	カーボンニュートラルの取組み	2024 年度目標 カーボンニュートラルの取組み検討、抽出

※1 2022 年度から環境製品拡販は除外項目とする。

※2 2023 年度から製品輸送のモーダルシフト化は除外項目とする。

● 環境・労働安全衛生関連法規制等の遵守状況

当社で法的義務を受ける主な環境・労働関連法規制は次の通りです。※1

適用される主な法規制	該当する活動又は適用される施設等	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の排出適正処理 ※2	適合
地球温暖化対策の推進に関する法律	事業活動全般	適合
エネルギーの使用の合理化に関する法律	事業活動全般	適合
大気汚染防止法	特定施設（ばい煙発生施設）	適合
水質汚濁防止法	特定施設（酸、アルカリによる表面処理施設）	適合
下水道法	特定施設、除害施設	適合
資源有効利用促進法	パソコン、二次電池	適合
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（P R T R法）	第1種指定化学物質の排出量及び移動量の届出	適合
工場立地法	生産施設の制限と緑化義務	適合
消防法（危険物）	消火設備の設置、危険物貯蔵所	適合
高圧ガス保安法	炭酸ガス製造施設	適合
公害防止管理者法（特定工場に組織における公害防止整備に関する法律）	公害防止統括者、公害防止管理者	適合
フロン排出抑制法	第一種特定製品の簡易点検、定期点検	適合
労働安全衛生法	特定化学物質のリスクアセスメント	適合

※1 環境関連法規の違反はありません。なお、関係当局より違反、及び訴訟等の指摘も過去10年間ありません。

※2 当所変圧器、コンデンサ等の低濃度PCB処理は、2023年12月の処理分で全て完了。

● マネジメントレビュー（代表者による全体評価と見直し・指示）の結果

2024年7月12日にマネジメントレビューを行いました。

<取組評価・環境経営方針>

- ・環境法令遵守については、引き続き法令遵守状態を維持する。
- ・緊急事態想定訓練は、自主的活動を継続する。また、火災の緊急事態について、ガス漏れ事象を追加し、手順書の追記、改訂を行う。

<目標・活動計画> 目標・活動計画の変更なし。

- ・電力量管理に関しては、定量化し、実績ベースの管理をしつつ、プロセスベースの管理もできるようにする。
- ・電力量低減策として、油圧ポンプのINV化、INV式コンプレッサーの導入を促進する。
- ・2024年度、第2塗装ライン休止に伴い、電力、都市ガス、水の使用量低減が見込めるが、さらなる生産性向上を図り、原単位低減を目指す。
- ・廃棄物の分別、減容化をさらに進める。
- ・有害化学物質については、SDSの教育、周知の徹底を図る。

<EMSの各要素>

- ・環境に関する報告、教育を充実させ、所員の環境意識の定着を図る。

2024年7月12日

宇佐美 智之

2023年度 活動実施事例

(1) 尼崎製造所周辺の清掃活動の状況

2023年5月



(2) 産業廃棄物処理場の状況

2024年3月(姫路市)



— 以上 —

ご高覧有り難うございました。

次回、環境活動レポートの発行予定は '2025年7月です。